

(学校番号035)

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【神田小学校】

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 児童間において、前学年や前単元の学習内容の定着や習得状況に差が見られる。 <指導上の課題> 児童一人ひとりの学習状況に合わせた反復・習熟の時間や機会の設定が不十分である。	⇒ ・単元の最初や途中で、前学年や前単元の内容を復習する時間や機会を設ける【毎単元】。 ・単元の後半に、習った学習内容を活かす時間や機会を設ける【毎単元】。 ・児童が自分の学習状況に合わせて「ドリルパーク」等を活用する時間や機会を設ける【毎単元】。
思考・判断・表現	<学習上の課題> 自分の考えを表現することに苦手意識がある児童の割合が多い。 <指導上の課題> 児童主体の学習活動の機会を十分確保する必要がある。個人差が大きい。	⇒ ・学習活動や過程を明確に示し、個人で取り組む時間を確保して、見直しをもって学習できるようにする【毎単元】。 ・指示や発問を工夫し、ねらいを達成するために児童が自ら考え、協働しながら活動できる授業を実施する【毎時間】。 ・友達に話すことや書くことがしたくなる教材開発や活動のバリエーションを豊かにする【毎単元】。

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

※評価
A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)